

ESG投資を通じたSDGs達成に向けた取組みについて
～仙台市が発行するグリーンボンドを購入～

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、仙台市が東北の自治体として初めて発行したグリーンボンドを購入しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行では、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組みの一環として、グリーンボンドなどのESG債への投資を積極的に推進しており、本件投資を通じて脱炭素社会の実現に向けた仙台市の取組みに貢献したいと考えております。

今後も、金融商品・サービスの提供を通じて、SDGsへ積極的に取り組む企業やお客さまを支援してまいります。

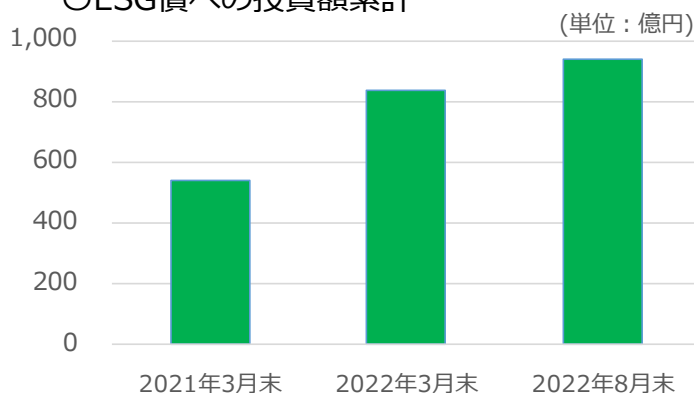
記

購入したグリーンボンド（※）の概要

発行体	仙台市
年限	5年
発行額	50億円
発行日	2022年9月13日
資金用途	市有施設への太陽光パネル設置や ごみ処理施設の省エネルギー化改修等の適格プロジェクト
関連する 主なSDGs	

※ グリーンボンドは、環境改善効果等がある事業に用途を限定して発行される債券です。

OESG債への投資額累計



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取組みを更に強化するため、2021年10月より「SDGs実践計画」を策定しております。

以上

